



国府小学校だより

ウェルビーイング

令和7年2月10日発行

第9号

徳島市国府小学校



◇『おもいやり算』あふれる学校に！

2月7日の全校朝会では、子供達に「人を笑顔にする算数」のお話をしました。

10年くらい前にテレビコマーシャルで流れていたもので、大変印象に残っているものがあります。その内容は以下のようなものでした。

「+」は、助け合う
「-」は、引き受ける
「×」は、声をかける
「÷」は、分け合う
それは、人を笑顔にする算数、「おもいやり算」
ほら、やさしいでしょ

「人を笑顔にする算数」という言葉や、「ほら、やさしいでしょ」というところが、心をとってもほっこりさせてくれます。

『困っている友達がいたら**助け合う**』『人が嫌がるようなことでも進んで笑顔で**引き受ける**』『ひとりぼっちの友達や困っている友達がいたら、**声をかける**』『うれしいことも悲しいことも**分け合う**(分かち合う)』

そうしたら、**された子はみんな笑顔になりますね。**

そんな**おもいやり算のあふれる国府小学校**にしよう！ という話でした。

◇「530(ごみゼロ)を目指せ！ 国府小ボランティア」【全校】

1月24日(金)の朝の活動時間、青少年赤十字委員会が計画してくれた「530運動」に全校で取り組みました。赤、黄、青、緑の4チームに分かれて、色別対抗戦というゲーム的要素を取り入れて、楽しみながら運動場や中庭などの落ち葉拾いや雑草抜きなどの清掃に取り組みました。

10分間でしたが、750人の子供達のパワーはものすごく、隅々まであっという間に美しくなりました！



◇「学校たんけん～給食室」【1年生】

1月中旬、1年生はクラスごとに分かれて、給食を調理中の給食室を訪問しました。梶崎栄養教諭から、毎日、調理員さんと栄養教諭あわせて9人で、800人分の給食を作っていることや、大きな道具（ザルやしゃく、すくい網など）の説明を聞いたり、実際に道具を持たせてもらったり、調理をしている様子を観察したりしました。想像していた以上に野菜などの量が多かったり、道具が大きかったりで、どの子も目を丸くして興味津々の様子でした。



「釜が人間より大きいのにビックリした」

「じゃがいもが裸になったところがおもしろかったです」

「エプロンの色によって仕事がちがうのがすごい！」

「一生懸命作っているから全部残さず食べようと思った」

「私はこれからこんにやくを頑張っておきます」

「混ぜるやつがシャベルみたい」

「家のお玉より大きい！」

～1年生のかわいい

感想の中から～

◇「徳島市・名東郡音楽交歓演奏会」【4年生】

2月5日（水）、音楽交歓演奏会があわぎんホールで開かれました。徳島市と佐那河内村から合わせて23校が参加し、国府小学校からは4年生児童107名が参加しました。曲は『風になりたい』。4年2組担任の林先生の指揮のもと、全員で元気に合唱奏を奏でました。

子供達は普段とは違う大舞台でも臆せず練習どおりの力を発揮し、堂々と力強く、明るい演奏と合唱を行うことができました。他校の演奏を興味深く鑑賞したり、演奏会後はみんなで楽しそうにお弁当を食べたりと、時折雪が降る寒い日でしたが、心はほっこりする1日になったようです。



